

桜川

第8号

市議会だより

平成19年8月1日



～桜川シリーズ No.7～

夏空と桜川・・・桜川市青木地区 (大和橋)

大和橋から見る桜川と筑波山は桜川市を代表する景観です。7月中旬を過ぎると、夏らしい青空が広がります。

もくじ

伝統的建造物群保存地区保存条例を可決・・・2～3

6名が登壇、一般質問・・・5～7

「町並み案内ボランティア」

私のメッセージ



鈴木 ノブ子さん (六十七歳)
桜川市真壁町東山田 一五五八番地二

私が真壁の町並み案内ボランティアを始めてから六年目になります。二十五年間の教職を退き、お世話になった地域の方々に、少しでもご恩返しをしたいと思った矢先に誘いを受け、何のわだかまりもなく入会しました。

筑波山のふもと、まるで山懐に抱かれていたような静かなたたずまいの町、幼いころ祖父母たちと訪れては楽しい思い出をたくさん与えてくれた町、限りなく愛着のある町です。この町の歴史と伝統を見直し、保存・活用していこうという動きが起こり、蔵や門、町屋等一〇四棟が国の有形文化財に登録されました。それ以来、町を訪れる観光客に、登録文化財を中心に案内しています。



案内は年間七〇〇人前後、「真壁のひなまつり」期間中は一〇〇〇人くらい案内します。当初は分かりやすく丁寧に話すのは簡単ではありませんでした。研修会に参加したり資料で調べたり、会員相互で話し合ったりしています。

ボランティア活動を通して、真壁には一五〇〇年も前からの歴史が脈々と流れていること、これが大勢の先人がそれを受け継ぎ、魅力のある郷にしようとする地道な活動をしてきたことを、肌身で感じたいと思います。

「きれいな町ですね」「心がいやされます」など、訪れた人から感想や礼状をいただいたり、町内で出会う方々から声をかけられたりすることもたびたびです。これが自分の生活の活力にもなっていると感じます。

今日はあいにくの雨、でも石岡市(旧八郷町)の方を案内する予定です。ボランティアの青い帽子を着て出かけようと思います。

議会の動き

月	日	内 容
4月	6日	議会広報特別委員会
	10日	議会運営委員会
		議会広報特別委員会
	16日	議会広報特別委員会
5月	15日	議会運営委員会
		議会全員協議会
	17～18日	議会建設経済常任委員会研修(山形県川西町、寒河江市)
	22～23日	議会総務常任委員会研修(新潟県小千谷市、長岡市、新発田市)
		議会文教常任委員会研修(千葉県香取市、埼玉県川越市)
	25日	県西総合病院組合議会
	29～30日	議会福祉環境常任委員会研修(栃木県真岡市、矢板市、福島県二本松市)
	30日	議会文教常任委員会
6月	4日	筑西広域市町村圏事務組合議会
	5日	議会運営委員会
		議会全員協議会
	12～14日	議会第2回定例会
	14日	議会広報特別委員会
	20日	議会建設経済常任委員会勉強会
	21～22日	議会広報特別委員会研修(埼玉県鴻巣市、群馬県みなかみ町)
	26日	筑北環境衛生組合議会
7月	10日	議会広報特別委員会
	11日	4常任委員会合同委員会
		議会運営委員会

私のメッセージ 募集のお知らせ

市議会では市議会だよりに『私のメッセージ』コーナーを設置し、広く市民の皆様からのご意見を募集いたします。奮ってご応募ください。

応募方法：封書・FAXまたはメールで600字以内(氏名・住所・電話番号を記入)
応募のあて先・お問い合わせは市議会事務局まで
TEL 0296-75-3111 FAX 0296-75-6633
〒309-1292 桜川市岩瀬64番地2 E-mail gikai@city.sakuragawa.lg.jp



相田一良

作家、藤沢周平の作品が静かなブームとなっています。次々と映画化もされ、いずれも高い評価を受け興行的にも成功しています。なぜ、目線を下げた地味な作品が注目を集めるのか、何か今の時代と関係があるのではないのでしょうか。

「富裕層」や「勝ち組」と言った言葉がもてはやされる時代にあって、社会の底辺の中で、現代、失われつつある家族の「きずな」を大切に、毎日を懸命に生きる人たちに寄り添う彼に対する共感、そして日本と日本人の美しい面を描き出す作品に惹かれる人が多いのかもしれない。

このように弱い立場の人が報われるような社会を、皆様のお知恵をお借りしながら、行政とともに一層取り組んでまいりたいと思います。

議長 小林 正紀

議会広報特別委員会

- 委員長 仙波 信綱
- 副委員長 菊池 節子
- 委員 相田 一良
- ” 岩見 正純
- ” 勝田 道雄
- ” 風野 和視